母校創立１３０周年日向地区木犀会の報告

平成27年３月７日

　出席者は、会長代理の中原を含めて１２名であった。当初は、あと２名が出席の予定であったが、区長会研修会等、他の行事との重なりで欠席となった。

　総会は、藤原正様の進行で進められ、石川安雄会長の挨拶、来賓祝辞（中原）、母校創立記念日の歌斉唱、そして自己紹介と続いた。

　会長挨拶では、宮崎市で行われた母校創立130周年記念祝賀会の内容が丁寧に報告され、総会レジュメの中に当日の資料もとじられていて大変わかりやすかった。

　印象的だったのは、自己紹介の中でご自分の健康状態に不安を感じておられたり、趣味や生きがいをもって楽しく過ごしておられたりなど、近況を率直に話しておられ、木犀会日向支部の強い仲間意識を感じたことである。

　健康については、体の老化が進んで手足が痺れるなど不安を感じておられたり、ご伴侶の介護等で毎日が大変ではあるが、食事作りをしっかりやっておられるというお話や、心臓の手術で入院をしたが、その後のリハビリで、現在はだんだん歩く距離が長くなってきているなどの話があった。一方、風邪ひとつひかずに元気で過ごしておられたり水泳を毎日２時間続けておられたりといった健康な方もおられた。

　趣味や生きがいについては、それぞれ個性あふれるお話を聞くことができた。

　その後の昼食会では、二見先生の楽しいマジックのご披露などがあり、和やかな時間となった。談笑の中で、石川安雄会長が次のような話をされた。

「日向支部は平成18年に立ち上げた。当時はおよそ40人の会員がいたが、現在は13名人なった。会員の高齢化と減少が大きな課題である。」

　これは、木犀会全体の課題と重なるなあと感じた次第である。